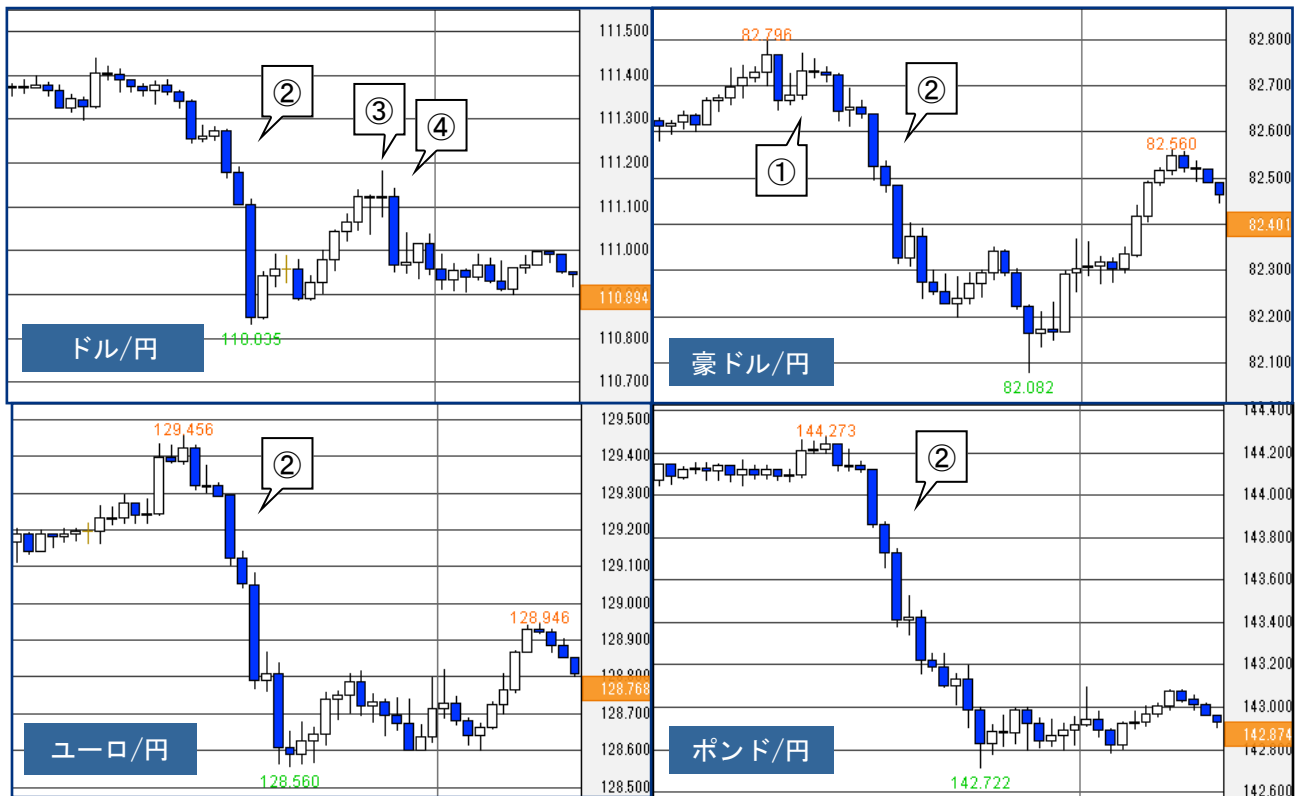


8月9日(木曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、110円台半ばがサポートに

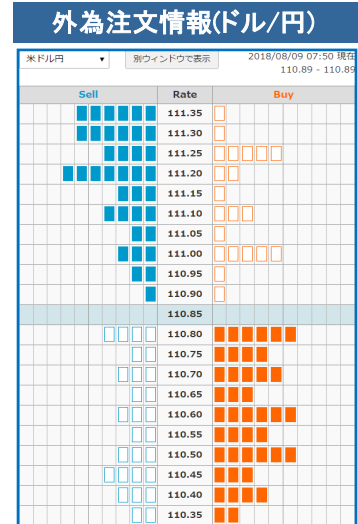
8日(水)の為替相場



期間：8日(水)午前6時10分～9日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① ロウ豪中銀(RBA)総裁が講演で「短期的には政策変更の強い論拠は見当たらない」との見解を示した。また、同時刻に発表された中国7月貿易収支は280.5億ドルの黒字と予想(389.2億ドルの黒字)を下回り、前回(414.6億ドルの黒字)から黒字額が減少した。なお、前年同月比では輸出が+12.2%、輸入が+27.3%と輸入の増加率が輸出の倍以上となっており、これが黒字額減少の要因となった。
- ② 上海総合指数が下げ幅を拡大すると、翌日に控えた日米通商協議(FFR)に対する警戒感も相まって円が全面的に買われ、ドル/円やクロス円が下げ足を速めた。
- ③ バーキン米リッチモンド連銀総裁が講演で「失業率が低くインフレ率が実質的にFRBの目標水準にある状況で、正常な水準より低い金利が適切と主張するのは困難」と語り、漸進的な利上げ継続の正当性を主張。また関税の引き上げについては「数カ月前と比べ、関税を巡る懸念に人々はより神経質になっている」と指摘した。
- ④ 中国商務省が「米国からの輸入品160億ドル、333品目に25%の追加関税を課す」と発表。米中貿易摩擦が長期化すると懸念が浮上したことなどを受けて米国株が売られるとドル/円も値を下げた。

8日(水)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22644.31 ▼18.43	6268.528 △14.592	2744.070 ▼35.304	7776.65 △58.17	12633.54 ▼14.65
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25583.75 ▼45.16	0.1130% ▼0.0030	2.677% △0.021	1.313% ▼0.012	0.398% ▼0.011
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.6677% ▼0.0020	2.9600% ▼0.0130	66.94 ▼2.23	1221.00 △2.70	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.500-111.400円	128.100-129.300	81.900-82.900	142.000-143.300

【ドル/円】

昨日のドル/円は、110.80円台まで下落して7月31日以来の安値を付けた。本日から始まる日米通商協議 (FFR) への不透明感などを背景に調整的なドル売り・円買いが優勢となった。FFRでは、米国側が日本車への自動車関税をちらつかせて輸入拡大などで米貿易赤字削減を迫ると見られている。そうした中、FFR期間中のドル/円は上値の重い展開を強いられそうだ。ただ、トランプ米政権の「アメリカファースト」は本質的にドル高政策だ。世界的に株価が大崩れするなどのショックが起きなければ、ドル/円が大きく下押しする公算は小さいだろう。110円台半ばは7月後半にサポートとなったほか、週足の一目均衡表の雲上限もある。この水準は今回もサポートとして期待できそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/9(木)	10:30		(中国) 7月生産者物価指数(前年比)	+4.7%	+4.5%
	10:30		(中国) 7月消費者物価指数(前年比)	+1.9%	+2.0%
	21:30	○	(米) 7月卸売物価指数(前月比)	+0.3%	+0.2%
	21:30	○	(米) 7月卸売物価指数(前年比)	+3.4%	+3.4%
	21:30	○	(米) 7月卸売物価指数(コア・前年比)	+2.8%	+2.8%
	21:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	21.8万件	22.0万件
	23:00		(米) 6月卸売在庫(前月比)	±0.0%	±0.0%
	26:00		(米) エバンズ・シカゴ連銀総裁、講演	—	—
	26:00		(米) 30年債入札(180億ドル)	—	—
	未定	○	日米通商協議(FFR)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。
Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com